

○ 明老大学12月講座のお知らせ 胡四王史談会の歴史講座と共催

今年度の明老大学のカリキュラムは受講生からの要望もあり、歴史講座を取り入れました。今回は胡四王史談会の歴史講座と抱き合わせで開催させていただきます。講師には中村良幸博物館館長をお願いしています。皆様のご来場をお待ちしています。

日時：12月18日（月）10時～
（約1時間30分）
会場：矢沢振興センター 大広間
講師：花巻市博物館 館長
中村良幸 先生
講演：「矢沢の歴史の謎を解く」



「花巻市博物館」特別展として、「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家・かがくいひろしの世界展」を12月24日（日）まで展示中です。

矢沢地区文化祭 盛大に開催

11月11・12日の二日間にわたり、矢沢振興センターにおいて、多くの皆様のご協力で文化祭を開催することが出来ました。出展は900作品。ステージ発表は新たに小野紘輝さんの独唱、川村庄孝さんの「かっぽれ」の出演があり、10団体の熱演は超満員のお客さんを魅了しました。なお、二日間の延べ動員は約700人となりました。



人気の生け花教室

盛況ハンドメイド体験

♥ ママこども保育園から

振興センターへ嬉しいプレゼント！

勤労感謝の日にママこども保育園のくまくみさんから「振興センターのみなさんへいつもありがとうございます」のメッセージの手作りプレゼントを頂きました。こちらこそありがとうございます。



ママこども保育園のくまくみさんからの贈り物

✿ 移動図書館（ぎんが号）運行日程 ✿

12/7（木）	団地会館	13：40～14：00
12/7（木）	福祉センター	14：15～14：45
12/13（水）	高木観音	09：20～09：50
12/13（水）	振興センター	10：05～10：35
12/13（水）	やさわこども園	10：50～11：20

第14回伝承大会 見事な舞で観客を魅

矢沢伝統芸能伝承大会は11月19日に開催。当日は肌寒い中での開演でしたが、多くの方にご来場いただき熱気にあふれた演技が展開されました。今回の出演団体は7団体、11演目とコロナ前の通常での開催となりました。園児の和太鼓やしんがくの舞にご家族の皆さんは大きな拍手で応援しておりました。矢沢伝統の見事な神楽の舞と矢沢の力を存分に発揮できたものと思います。ご協力に感謝！



ご祝い唄に小学生も出演
（高松第三行政区）



高木小路神楽による
権現舞

お知らせ」文化祭と伝承大会の様子は「季刊やまぼうし第46号」（12月15日号）に掲載いたします。

◎ 矢沢地区自主防災会連絡協議会 東日本大震災視察 気仙沼 へ！

矢沢地区自主防災会連絡協議会が結成されて早いもので11年目となり、東日本大震災後12年が過ぎ「気仙沼」はどう復興しているのかを視察に行ってきました。

11月7日、矢沢地区内の防災士23名が参加してまいりました。気仙沼～大島間は大きな橋が架かり、大島より復興した被災地気仙沼を視察して、12年前のあの時のことが思い出されました。「気仙沼 東日本大震災遺構・伝承館」を見学となり、(死者1,143名、行方不明者212名) 悲劇の現場やら写真を見て震災と津波の恐ろしさを知らされました。

「伝承館」は気仙沼向洋高校が破壊されたままの校舎を利用した建物でした。1階から4階まで津波が押し寄せて、流されてきた車や壊れた壁など、生々しい爪痕で脅威を感じました。見学後、防災セミナーとして語り部さんに1時間講演をいただきました。

「地元の中学校の答辞に泣かされた」「避難場所が公民館となっていたが波にのまれた」「早め早めの連絡が大切だ」など話され、震災の記憶と教訓を伝えて、警鐘を鳴らして行こうと閉じられました。

矢沢地区の皆さんへ

災害は起きてからではなく、普段からの備えが重要です。まず自助(自分の命を守る)7とする。共助(自分たちの地域は自分たちで守る)2とする。公助(市・県・国の任務)1とする。防災視察を得ての報告とします。

事務局長・佐藤智明

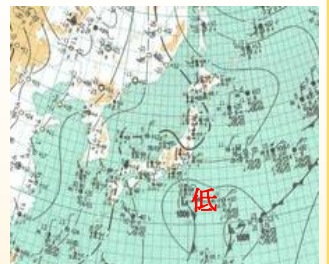


【事務局員のつぶやき】(12月の声を聞くと、赤穂浪士討ち入りの場面を思い出します!?)

子どもの頃映画ファンであった小生は、花巻市内にある花巻座(東映)、花巻東宝映画劇場(東宝・松竹)、花巻文化劇場(大映・日活)の映画館によく足を運びました。当時は時代劇映画華やかし頃で、オールスター総出演による正月映画として忠臣蔵が上映されていました。大石内蔵助役は片岡千恵蔵(東映)、長谷川一夫(大映)、萬屋錦之介(東映)、三船敏郎(東宝)と言った大御所俳優が演じており、よく真似をしては遊んでいたものです。大石内蔵助について今のアンケート結果を見ると、忠臣蔵を観ていないが第一位で、二位以下は北大路欣也、中村勘三郎、里見浩太朗、中村吉右衛門、緒形拳、佐藤浩市といった大物男優が上位に並んでいます。

赤穂浪士の討ち入りがあったのは1702年(元禄15年)12月14日午前3時頃とあります。討ち入り前日の12月13日は江戸に雪が降り積雪となりました。赤穂浪士の足音を積もった雪が吸収し吉良方に気付かれなかったことも討ち入りに幸いした理由の一つとも言われています。江戸(東京)に積雪になるほどの降雪をもたらし、その翌日にはよく晴れていたことから南岸低気圧が東京の南側を通過したと考えられます。ちなみに東京の観測データは1876年(明治9年)から記録があり、東京の初雪の一番早い記録は1876年(明治9年)と1900年(明治33年)の11月17日になっています。東京の初雪は意外と早く、明治9年以降147年間で11月に初雪を観測した年は11回、12月は75回と年内(12月まで)に初雪を観測した回数は、86回で58.5%にあたります。もちろん降雪量は零か数センチと少ない値ではありますが!

南岸低気圧による東京3cmの12月大雪?の事例
(昭和62年12月13日)



昭和62年(1987)12月13日09時地上天気図

元号	明治・35年間		大正・15年間		昭和・63年間		平成・30年間		令和・4年間		全体・147年間	
	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月
回数	5	19	0	10	5	32	1	13	0	1	11	75
比率%	14.3	54.3	0.0	66.7	7.9	50.8	3.3	43.3	0	25.0	7.5	51.0

※ 東京の初雪：11月・12月に記録した回数と比率(母数：147年(1876年-2022年)、内訳(明治・35年、大正・15年、昭和・63年、平成・30年、令和・4年)